

議会だより ましこ

No.161

令和5年
6月定例会



6月定例会審議結果… 2~3
一般質問…………… 4~5
常任委員会活動…… 6~7
町民の声…………… 8

6月定例会

令和5年度補正予算を審議

令和5年第31回定例会は、6月1日から5日までの5日間の会期で開かれました。

補正予算2件、契約1件、人事2件などを審議し、原案どおり可決されました。

町政に対する一般質問では、4名の議員が登壇しました。

令和5年度補正予算

令和5年度6月補正予算は、全員賛成により可決されました。

会計区分	補正前の額	6月補正予算額	合計
一般会計	85億4,811.8万円	1億8,938.3万円	87億3,750.1万円
特別会計	53億4,232.0万円	4.0万円	53億4,236.0万円
合計	138億9,043.0万円	1億8,942.3万円	140億7,986.1万円

【補正予算の主な内容】

- ・CDO補佐官業務委託（990万円）
- ・電力、ガス、食料品等価格高騰重点支援給付金事業（6,480万円）
- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業（990万円）
- ・益子町省エネ家電製品購入費補助金（1,000万円）
- ・施設園芸等燃料費高騰対策支援事業補助金（1,200万円）
- ・配合飼料等価格高騰対策支援事業補助金（1,200万円）
- ・益子町緊急経済対策事業者等支援金（2,400万円）
- ・学校給食賄材料費（1,312万円）



令和4年度繰越明許費

繰越額は一般会計で1億2千837万3千円、公共下水道事業特別会計で2億644万6千円です。主な事業は、地籍調査事業、町道170号一の沢円道寺線バイパス整備、下水処理場建設事業などです。

報告

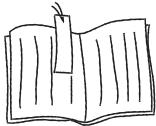
●**議員発議**
●**益子町議会図書館整備特別委員会の設置及び委員の定数**
(全員賛成)
益子町図書館の建設については、益子町中央公民館敷地内に増改築するという方針が示され、議会としても図書館整備に関し、引き続き調査、検討、議論していく必要があるため特別委員会を設置するのです。なお委員は13名で委員長に星野壽男氏、副委員

●**株式会社まっこカンパニーの経営状況**
●**地方自治法の規定に基づき報告を受けました。**
令和4年度の来場者数は80万3千人、売上は8億6千723万2千円でした。

●**佐野地区衛生施設組合が木県市町村総合事務組合から脱退することに伴う財産処分**
(全員賛成)
令和5年9月30日をもって佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退することに伴い規約が変更されます。

●**栃木県市町村総合事務組合規約の変更**
(全員賛成)
令和5年9月30日をもって佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退するため、栃木県市町村総合事務組合の共同処理する事務のうち退職手当支給事務にかかる財産処分を行うもので

長に小野澤則子氏が互選されました。



契約

●食器類洗浄機等売買契約

(全員賛成)

◇宇都宮市鶴田町
419番地7
メルパルクプラザ202号◇株式会社中西製作所
宇都宮営業所が落札し、「3千938万円」
の契約について議決しました。

総務産業常任委員会に付託され、慎重審議のため閉会中の継続審査となつた。

人事

●益子町農業委員会委員の任命の同意

(全員賛成)

会等に関する法律の規定により次の方々の任命に同意いたしました。

陳情

●国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の保

存方式（インボイス制度）の保

延期・見直しを求める陳情

（令和5年陳情第1号）

◇陳情者

東京都北区赤羽3-3-3

ドミール赤羽707

インボイス制度を考えるフ

リーナンスの会

代表 阿部 伸

●益子町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

(全員賛成)

政府及び国会に対し、中小零細事業者の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のために、インボイス制度導入の延期・見直しを求める意見書の採択・送付を求める。

任期満了となるため、地方税法の規定により、

の後任人事で

益子町大字北中 加藤栄一氏

の選任に同意しました。

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

の選任に同意しました。

◇趣旨

政府及び国会に対し、中小零細事業者の事業存続と再

生、ひいては日本経済振興の

ために、インボイス制度導入

の延期・見直しを求める意見

書の採択・送付を求める。

一般質問 4名の議員が登壇！

※議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、広報広聴常任委員会において議事録に基づいて精査した上で掲載しています。

小野澤 則子 議員 (4ページ)

- ① 益子町の災害時における避難所の運営
と災害種類別のマニュアルなどについて

直井 瞳 議員 (6ページ)

- ① 協働のまちづくりについて
② 産業団地の開発について
③ 学校の再編について

加藤 芳男 議員 (5ページ)

- ① 自主財源について
② 益子焼の振興について
③ 高齢者に対する町の支援について

佐藤 武 議員 (7ページ)

- ① 健康増進について
② 産業経済について
③ 子育て教育について

町議会ホームページから会議録がご覧いただけます。
(6月定例会の会議録は8月下旬に公開予定です。)

会議録検索はこちらから→



一般質問の映像DVDを中央公民館図書室で貸出していますのでご利用ください。



小野澤則子 議員

災害時における避難所の運営と、災害種類別のマニュアルについて

総務課長

避難所は町民会館を想定しそちらに体制を整え、備蓄品の不足が見込まれる事態には国からの配送となる。

質問 益子町は原子力発電施設より五〇キロ圏内であり、原子力災害対策で屋内退避を行う地域と示されている。町民にどう知らせるのか。

総務課長 原子力規制委員会の判断が示されたら、防災無線やホームページ、エリアメールなど考えられる媒体は全部使って広報する。

自主財源について

質問 まちの事業の基礎となる自

主財源をどう増やしていくのか。

町長 町内に産業と雇用をつくり、町税における歳入を増やしていく。

質問 町内総生産額を向上させるための対策はあるのか。

町長 町内循環型経済の推進、生産性の向上、事業者の高付加価値化への取組の支援をしてまいります。

質問 財源で未徴収税の徴収率向上の対策をしているのか。

税務課長 今までのやり方を踏襲しつつ、新たな手法の検討をしていく。

質問 高齢者に対する支援について

質問 高齢者が元気だと町も元気になると思っています。高齢者に対する施策の計画はあるのか。

町長 高齢者が元気であることは、介護予防の観点からも非常に大切です。今ある活動の推進を図っていきます。

質問 町のバスが一台になる予定なので、高齢者の楽しみが減ってしまいます。再度バスを購入する考えはあるか。

町長 一台になつた経緯を踏まえ、題にさせて頂きます。

益子焼の振興について

質問 これまで益子焼の販売は民間業者が頑張ってきたが、今は右肩下がり。町として何か打つ手はないのか。陶芸メッセを活用しての集客策は考えているのか。

町長 陶芸メッセは、魅力ある企

画展を開催することで、若手陶芸

質問 原子力災害時には城里町の

町民の避難を他町と共に受け入れることになっている。滞在地の想定と

備蓄品はどうのように考えているのか。

加藤 芳男 議員



災害時における避難所の運営と、災害種類別のマニュアルについて

総務課長

避難所は町民会館を想定しそちらに体制を整え、備蓄品の不足が見込まれる事態には国からの配送となる。

質問 益子町は原子力発電施設より五〇キロ圏内であり、原子力災害対策で屋内退避を行う地域と示されている。町民にどう知らせるのか。

総務課長 原子力規制委員会の判断が示されたら、防災無線やホームページ、エリアメールなど考えられる媒体は全部使って広報する。

自主財源について

質問 まちの事業の基礎となる自

主財源をどう増やしていくのか。

町長 町内に産業と雇用をつくり、町税における歳入を増やしていく。

質問 町内総生産額を向上させるための対策はあるのか。

町長 町内循環型経済の推進、生産性の向上、事業者の高付加価値化への取組の支援をしてまいります。

質問 財源で未徴収税の徴収率向上の対策をしているのか。

税務課長 今までのやり方を踏襲しつつ、新たな手法の検討をしていく。

質問 高齢者に対する支援について

質問 高齢者が元気だと町も元気になると思っています。高齢者に対する施策の計画はあるのか。

町長 高齢者が元気であることは、介護予防の観点からも非常に大切です。今ある活動の推進を図っていきます。

質問 町のバスが一台になる予定なので、高齢者の楽しみが減ってしまいます。再度バスを購入する考えはあるか。

町長 一台になつた経緯を踏まえ、題にさせて頂きます。

益子焼の振興について

質問 これまで益子焼の販売は民間業者が頑張ってきたが、今は右肩下がり。町として何か打つ手はないのか。陶芸メッセを活用しての集客策は考えているのか。

町長 陶芸メッセは、魅力ある企

画展を開催することで、若手陶芸

質問 原子力災害時には城里町の

町民の避難を他町と共に受け入れることになっている。滞在地の想定と

備蓄品はどうどのように考えているのか。

家の育成及び独立に向けた支援もおこなっている。また、益子焼の販売額を増やすため様々な販売手法の開発や滞在型の観光地として観光コンテンツの発掘と磨き上げも重要なだと考えている。

質問 埼地区に造成予定であるが、将来にわたる整備費は、現状の財政計画で健全に確保できるのか。

町長 財政計画の財政調整基金の残高や公債費について順調に推移しております。財政指標も見通しより良い決算額となる見込みであり、予定通り



直井 瞳議員

協働のまちづくりについて

質問 本年度に町行政主催の自治会ごとの懇談会が実施予定となつてあるが、地域からの声、ご意見をどのように活用される考え方。

町長 意見の内容に応じて検討するが、長期的、計画的な対応が必要なものについては総合計画に反映し、速やかに取り組むべき案件は担当課において早急な対応を検討します。

質問 町民活動に対しても具体的にどのような支援を講じているのか。

教育長 公民館の使用料の減免措置や5期以降の町民大学卒業生の新規活動に対し、補助金を交付している。

産業団地の造成開発について

質問 埼地区に造成予定であるが、将来にわたる整備費は、現状の財政計画で健全に確保できるのか。

町長 財政計画の財政調整基金の残高や公債費について順調に推移しております。財政指標も見通しより良い決算額となる見込みであり、予定通り

り行えると考える。

質問 産業団地の企業誘致について、益子の特性にあつた企業の誘致を図ることだが、どのように推進するのか。

町長 益子の風土やイメージにも配慮しながら、区画を分譲販売していく従来の手法と併せて、産業団地の設計段階から立地を望む企業の意見、要望を取り入れながら整備して販売するエントリー・アンド・オーダーメイド方式も検討している。

学校の再編について

質問 将来的に児童・生徒が激減する見込みであるが、町内小中学校の再編について、今後の学校施設の整備をはじめ、早期に調査研究に着手し、検討する時期であると感じるがどのような見解か。

教育長 義務教育の機会均等、教育水準の維持、向上を図り、子どもたちが生きる力を育むことができる学校教育を保障するという観点から、学校の適正配置の在り方について検討しなければいけないと考える。10年後には中学生の人数が約300名と想定されることから令和6年度中に検討委員会を立ち上げられるよう準備をしている。

産業経済について

質問 町のブランドイメージアップについて、現状や今後の計画はどうになっているのか。

町長 ましこラボと連携し、SNS

Sも活用して、幅広い方々に対して随時アンケートを実施し、様々なデータを蓄積している。今後は、蓄積されたデータを定期的に分析し、

町内にある様々な魅力ある観光資源の情報をよりタイムリーに、かつ効果的に発信できるよう、取り組んでまいります。また、対外的に統一された情報の発信に努め、陶器市以外の期間にも一年を通して多くの観光客が訪れる町を目指してまいります。



佐藤 武議員

健康増進について

質問 日本の医療費は年々増えているが、町として医療費削減の取り組みはどのようなものか。

町長 健康相談、ジエネリック医薬品の普及啓発、多剤服薬者等への指導、高齢者の保健事業と介護予防との一体化事業等を実施している。

子育て教育について

質問 偏差値重視の教育ばかりではなく、リーダーを育てる教育も必要であると考えるが、どのような見解か。

町長 チャレンジショップでの営業や若手陶芸家に町の敷地を一部貸し出して、独立に向けた営業活動の場を提供したり、経営に役立つ知識習得のためのセミナーなどを開催しています。

質問 インスタグラムやツイッターも効果的なツールと思うがいかがか。

産業建設部長 インスタグラムもフォロワーが2万6千を超え、インフルエンサーのほうから何か関わりを求めていきたいというような意見ももらえるようになり、少しずつ町の公式インスタが認知をされ始めている。

質問 リーダーの育成につきましては、子供たちが円滑な集団活動を行い、居心地がよくて安心して過ごせる集団づくりを行う上でとても大切なことだと考えております。

4項目

総務産業 常任委員会

～5月・6月実施分～

- 令和5年度各課重点事業（5/30）
- DXの推進（6/27）
- ふるさと納税（6/27）
- 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情（6/27）

●令和5年度各課重点事業

【審議結果及び意見】

《総務課》

- 職員定数は157名、現在の職員数は155名で病休は4名いる。正職員での補充

難しい状況なので、緊急的なものとして派遣職員を採用している。総務課においては、特に心の病などで病休が出ている。

いように、風通しの良い職場環境をつくっていく。

○災害時の避難所開設については、家族同然のペットと一緒に避難できるような避難所の設置を検討されたい。

《企画課》

- ふるさと納税額を増やすためには、返礼品の品数を増やして益子ならではの商品づく

りが課題である。地場産業の商品を並べたいところではあ

るが、現実的には納税者が欲

らないのが現状である。この

ような傾向から益子町でも人

気のある商品を返礼品として扱つてきたいと考えている。

○ふるさと納税については取

《農政課》

- 農業の産出額が年々下がっ

てきてているが、それは栃木県

産米のコシヒカリの価格その

ものがかなり落ち込んだこと

が考えられる。後継者不足も

要因の一つ。農と食のプロジェクト事業であったり、担

い手の確保であったり、高収

益作物の推進であったり、

《観光商工課》

- 観光に関する団体が8つほ

どあるが、ましこラボを中心

となつて観光施策・観光事業

に関するものを一本化してい

く。実務者会議を強化して、

今後組織の統一は結論づけて

いないが、一つの手段として

別々に稼働した方がいいのか、

一つの組織としてまとめるこ

とがより効果的でいいのか議

論している。DMOであるま

引窓口を増やすだけでなく、専門職員を配置されたのであれば、積極的なPRに加え、更なる魅力ある新規返礼品の拡充・開拓をし、ふるさと納税の増額に努力されたい。

諸々の施策が必要と考える。JAで取り扱っているイチゴは産地化で成功しているので、需要と供給のバランスを見極めて今後いろいろ展開していく必要がある。

しこラボは地域の経営会社という位置づけで、観光協会は会員を主としたPRとかそういう方が主な事業になる。

○益子町を訪れた観光客の観光消費額、リピート率、満足度が向上するような施策を講じたい。また、SNSを活用して積極的に益子のPRをされたい。

《税務課》

- 税金の滞納については、財産調査を行ったり、財産がある人であれば押さえる。それ

をもとにして勧告を行う。それ

に対して納税相談をする。

それでもなお収まつてこない

という場合、最終的に換価処理に移つていくことになる。

滞納を減らすよう努めている。

○未評価物件については、航

空写真だけでは確認にくい

ところもあるので、ドローン

等の活用も考慮されたい。

《建設課》

- 道路整備については、整備計画も必要ではあるが、令和4年度から町道総点検を実施しており、現状を確認しながら維持・管理を進めていく。

○歩道がない道路も多いこと

から、子供たちの安全を守るために、これから整備する

道路については歩道の設置を検討されたい。

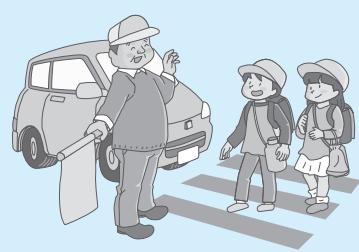
《建設課》

- 道路整備については、整備計画も必要ではあるが、令和4年度から町道総点検を実施しており、現状を確認しながら維持・管理を進めていく。

○歩道がない道路も多いこと

から、子供たちの安全を守るために、これから整備する

道路については歩道の設置を検討されたい。



○令和5年度各課重点事業（5/30）

○マイナンバーカード（6/27）

○地域包括支援（6/27）

教育厚生 常任委員会

3項目

●令和5年度各課重点事業

【審査結果及び意見】

いく。

○脱炭素社会のために町民ができることの目標を設定されたい。

の補助金が出ている。ボランティアには1回100マッチ

が出ており、額は少ないが意

欲的に取り組んでもらつていい。サロンの数は今年度1つ

増えて11ヶ所ある。コロナのため開設を見送ったサロンもあるので開設に向けて働きかけていく。

《健康福祉課》

○18歳まで子育て応援手当を一律一万円、加えて小中学校入学時に増額している。15歳の高校入学時に増額要望や、一律に支給するのはいかがかというご意見もあるため、見直しを考えている。

○子育て応援手当増額を15歳中学卒業時にも検討されたい。



○シルバー人材センターの需要はあるので、人材確保を支援されたい。

○シルバー人材センターのボランティアに1回100マッチはないので、サロンの方々の楽しみでもあるので金額の見直しを検討されたい。

《生涯学習課》



○観光振興事業は、地域振興のためのツアーパーは交付金を使つて民間事業者にお願いをして取り組んでもらうためで

あるので、まだ独自で収益を上げるものではない。将来的には収益を上げて町に仕事をもたらし、全体が潤うような仕組みづくりができるたらと考

えている。有料ガイドの育成についてのアイデアは出ているが、現実的には観光ボランティアが優先されるのではな

いか。

○電子黒板については普通教室には全部入っているが、今年度特別教室の分、そして特別支援教室数が増えた分の11基が入る予定。A.I.ドリルも本年度導入になる。教員がICTに長けているか苦手かど報などを通じて会員募集の呼びかけは可能であるので、シルバー人材センター事務局と相談しながらやっていく。

○児童生徒が自らPCやA.I.ドリルに興味を持つてどんどんレベルを上げていけるよう

なシステムの導入を検討されたい。

《環境課》

○脱炭素社会に向けての計画は、今年度町全体で取り組む

「地域施策編」を策定し、その中で削減目標の設定をして

地域にお客様を誘導するための連携が行政と民間の間で取れていたなかつたようなので、対処されたい。

○マイナンバーカードの交付率は5月7日現在で67.8%、申請は約80%出ている。未申請者が申請に向かうように利便性を周知するなど、働きかけていく。

特定検診の受診率は令和4年は44.5%。A.I.による受診勧奨を引き続き行い、本年度はそれを超えていく。結果を郵送せずに保健センターにて対面で結果を説明することなどにより、益子町は特定健診の指導率は約82%と県内1位である。

○マイナンバーカードの取得率をさらに上げる取り組みをされたい。

特定健診の受診率を今年度は更に上るように取り組まれたい。

○シルバー人材センターの会員が年々減少しているが、広報などを通じて会員募集の呼びかけは可能であるので、シルバー人材センター事務局と相談しながらやっていく。

○児童生徒が自らPCやA.I.ドリルに興味を持つてどんどんレベルを上げていけるよう

対処されたい。

町民の声



金子 幸代さん

里山や自然の情景が美しい

本沼で2023年6月にブルーベリー観光農園「ブルーベリーと里山と」を開園いたしました。

2021年に益子町に家族で移住してきました。それまで夫婦で東京のサラリーマンでした。

農業に興味を持つたきっかけは2つあります。1つは、東日本大震災の際、私たちが住んでた都内のエリアでスパーの棚から物がなくなりました。都内で物流が止まるとこういうことになるのかと強く記憶に残っております。もし自分たちが畑で何かを育てていたらこういう不安も緩和するのではと思ったことを覚えています。2つ目はコロナです。コロナ禍での都内での子育ての大変さを知り、忘れかけていた農業への関心や、田舎への移住を考えるようになりました。多忙な日々に追われ、家族での時間が十分にとれない生活も見直したいと

思いました。

サラリーマンから農家に転身した先輩方の様々なビジネスモデルを調べ、直接お話しを聞き、行き着いた方法がブルーベリーの養液栽培でした。養液栽培のコンサルタントや先輩方のネットワークがあることも安心して始められる要因だったと思います。

農業の方向性が定まってきて、次に考えるのは「どこに移住するか」でした。84自治体に問い合わせ、農業の経験がない私たちの事業計画案を否定せず、懸念せず、最後までしつかり話を聞いてくれて、「面白そうだね！応援するよ！」と、行政窓口の方、上司の方、農業委員会の方、地域の方、出会った全ての方が前向きに背中を押してくれたのは益子町だけでした。住む

家も、農地も決まってない中、農業で起業するなら「益子町」しかない決断いたしました。そこから、徐々に準備を進め、大変なことも沢山ありました。至らないことが多く、目をかけて頂いた方々へご迷惑をおかけしてしまったこともあり、大変申し訳なく思つていましたが、ご縁と幸運に恵まれ、なんとか今年ブルーベリー観光農園をプレオーブンするところまでたどり着けました。私たち夫婦一人では到底できなかつたことばかりです。

益子町の繁栄に少しでも貢献できるよう夫婦ともに精進して参りますので、どうぞぞ守つていただけましたら幸いです。



あなたも議会を傍聴しませんか 次回 9月4日(月) 開会予定

本会議当日、3F議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

また、議場カメラが導入され、役場1階ホールのテレビでの放映を予定しています。



「町民の声」であなたの声を！

町民の声を募集いたします。13文字×60行の中に、あなたが普段考えていること、伝えたいことを書いてください。顔写真、プロフィールもお忘れなく！

郵送または議会事務局（下記のTEL）までご連絡ください。住所、氏名、電話、メールアドレスをお願いします。

出張議会意見交換会のお知らせ

自治会や育成会、各種団体などで、「議員との意見交換会をやってみたい」という方のところに議員が出向いて議会のしくみや町政の現状についてお話しします。

ご希望がありましたら、議会議員や議会事務局までご連絡ください。開催日時等詳しい内容についてはご相談ください。

広報広聴
常任委員会



【訂正】議会だより第160号の8ページ、令和5年度当初予算において表記が一部間違っていました。

●後期高齢者医療の比較「2.4%減」は「2.4%増」です。訂正でお詫び申し上げます。